

2016年度  
決算補足資料

2017年5月9日

**DOWA**ホールディングス株式会社

# 損益の状況

## ■ 連結損益計算書

単位：億円

	2015年度 実績			2016年度 実績			比較増減					
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期		下期		通期	
売上高	2,082	1,983	4,065	1,847	2,257	4,105	△ 235	△ 11%	274	14%	39	1%
営業利益	202	148	350	133	206	339	△ 69	△ 34%	58	39%	△ 10	△ 3%
経常利益	206	144	350	135	229	365	△ 70	△ 34%	84	59%	14	4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	120	97	218	98	162	261	△ 21	△ 18%	65	67%	43	20%

- ✓ 下期に入り亜鉛など金属価格が上昇し、主力製品も堅調に推移したことから、経常利益は前年度比14億円の増益、当期純利益は特別損失の減少により同43億円の増益となった。

為替相場、金属価格

	2015年度 平均			2016年度 平均		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
為替：(¥/\$)	121.8	118.5	120.1	105.3	111.5	108.4
銅：(\$/t)	5,653	4,778	5,215	4,752	5,557	5,154
亜鉛：(\$/t)	2,019	1,643	1,831	2,084	2,650	2,367
インジウム：(\$/kg)	369	235	302	222	192	207

# 事業環境

## ➤ 廃棄物関連

国内：廃棄物発生量は横ばい、廃棄物の処理単価が一部で下落

東南アジア：石油・天然ガス開発に関連する廃棄物処理の受注は停滞、  
その他の産業廃棄物処理の受注は堅調に増加

## ➤ 自動車関連

国内：自動車生産台数は前年比でほぼ横ばい

海外：中国や東南アジアの自動車生産台数は堅調に推移

## ➤ 新エネルギー・電子部品関連

新エネルギー：北米、アジアを中心に市場拡大が継続

電子部品：中国を含む東アジアにおいて、スマートフォン向け需要が伸長

## ➤ 金属価格・為替相場

金属価格：貴金属や亜鉛の価格は上昇、銅も3Qより上昇に転じた

為替相場：上期に円高が進行し、年平均では約12円の円高水準となった

# 主要製品の動向

※2015年度1Qを100として指数化

		2015年度				2016年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
環境・ リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	92	96	97	91	94	100	93
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	94	101	96	101	110	112	93
	東南アジア廃棄物処理額	100	111	92	98	97	100	108	126
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	95	84	104	86	73	71	76
	亜鉛生産量 (秋田)	100	74	104	102	102	73	93	101
電子材料	LED販売量	100	108	77	58	57	50	47	49
	銀粉販売量	100	102	114	97	127	128	123	120
金属加工	伸銅品販売量	100	98	103	99	101	106	108	105
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	100	104	100	100	104	119	116
	工業炉売上高	100	81	80	82	65	76	72	120

# セグメント別の損益 前年比

単位：億円

	2015年度実績			2016年度実績			比較増減			営業利益の主な増減内容
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	
環境・リサイクル	983	63	61	969	66	68	△ 13	3	6	・低濃度PCB廃棄物の処理増加 ・一部廃棄物処理単価の低下 ・土壌処理案件の増加
製錬	2,149	133	139	2,077	100	122	△ 71	△ 32	△ 16	・円高による外貨建て収入の減 ・亜鉛価格高による利益増
電子材料	483	80	82	625	65	68	142	△ 14	△ 13	・銀粉は増販の一方、LEDは減販 ・円高による外貨建て収入の減
金属加工	774	49	50	754	69	71	△ 19	20	20	・自動車向け、スマートフォン向け伸銅品が増販
熱処理	241	13	11	251	23	22	9	10	10	・国内はコスト低減 ・海外はインド、タイなど受注増
その他、 全社・消去	△ 565	11	4	△ 574	13	11	△ 8	2	7	
計	4,065	350	350	4,105	339	365	39	△ 10	14	

# 経常利益の要因別分析

単位：億円

2015年度累計 - 2016年度累計	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	0	7	△ 7	20	11	2	32
うち実収差量（数量差）	-	( 9)	-	-	-	-	( 9)
実収差量（金属価格単価差）	-	7	-	-	-	-	7
外貨建収入為替差	-	△ 44	△ 9	-	-	-	△ 53
原料条件（条件差）	-	△ 7	-	-	-	-	△ 7
払出時価簿価差・期末時価評価差	-	△ 1	-	-	-	-	△ 1
電力代ほか	-	15	-	-	-	-	15
減価償却費（製造原価）	3	△ 9	1	1	△ 1	1	△ 4
営業利益増減	3	△ 32	△ 14	20	10	2	△ 10
営業外収支の影響							
・持分法損益	△ 1	16	1	△ 0	-	4	19
・その他	4	0	1	0	0	1	5
経常利益増減	6	△ 16	△ 13	20	10	7	14

# 財務の状況 ①

## ■ 連結貸借対照表

単位：億円

	2016年 3月末	2017年 3月末	比較増減		2016年 3月末	2017年 3月末	比較増減
流動資産	1,686	1,948	261	流動負債	1,006	1,211	204
				固定負債	604	556	△ 47
固定資産	1,957	2,097	140	自己資本	1,949	2,193	243
				非支配株主持分	84	85	△ 0
総資産	3,644	4,046	401	負債・純資産計	3,644	4,046	401
				有利子負債	811	799	△ 13
				自己資本比率 (%)	53.5	54.2	0.7
				ROA (%)	9.4	9.5	0.1

- ✓ 売上増による売上債権の増加、成長投資による固定資産の増加などにより、総資産額は前期末比で401億円増加。
- ✓ ROAは前期比で増益となったことなどにより、前期末から0.1ポイント上昇した。

# 財務の状況 ②

## ■ 連結キャッシュフロー

単位：億円

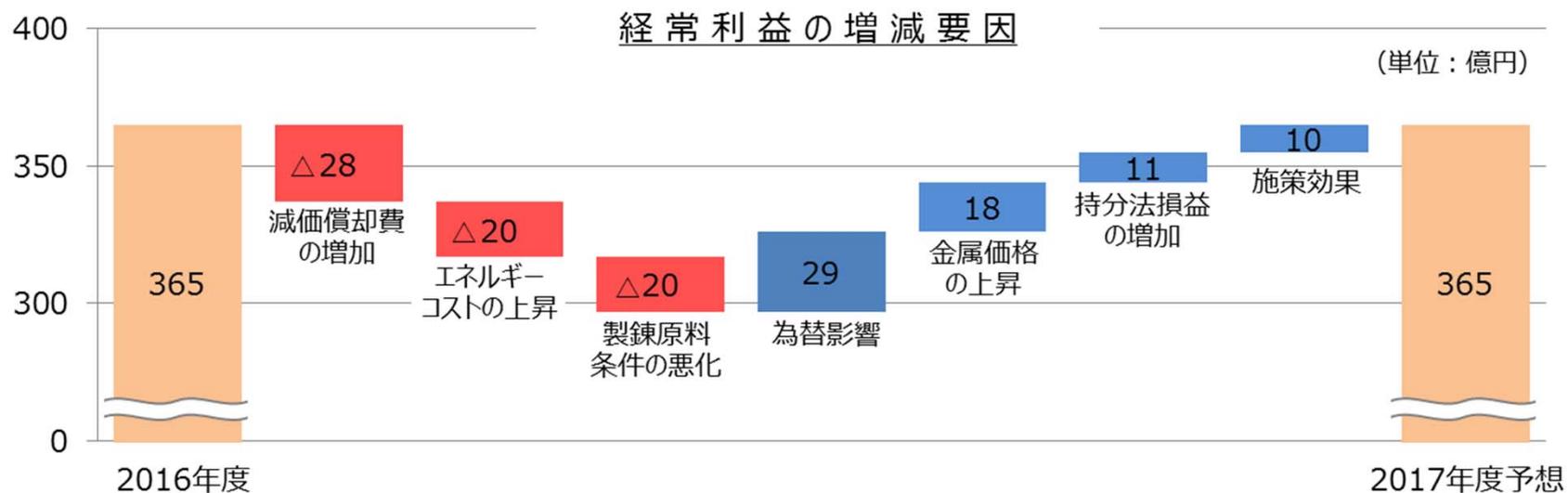
	2015年度	2016年度	比較増減
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>457</b>	<b>293</b>	<b>△ 163</b>
税金等調整前当期純利益	318	367	49
減価償却費等	156	162	6
法人税等	△ 169	△ 59	109
その他	152	△ 176	△ 328
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△ 234</b>	<b>△ 259</b>	<b>△ 24</b>
設備投資	△ 206	△ 259	△ 52
その他投資	△ 28	0	28
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>△ 111</b>	<b>△ 71</b>	<b>40</b>
<b>キャッシュフロー計</b>	<b>111</b>	<b>△ 37</b>	<b>△ 148</b>

# 2017年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2016年度 実績	2017年度 業績予想	比較増減
売上高	4,105	4,340	234
営業利益	339	340	-
経常利益	365	365	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	261	260	△ 1

- ✓ 成長投資による減価償却費の増加など減益要因はあるものの、為替相場・金属価格の好転や施策効果の発揮などにより、前年度並みの利益を計画。



# セグメント別の損益 前年比

単位：億円

	2016年度実績			2017年度 業績予想			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・ リサイクル	969	66	68	<b>990</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	20	3	1
製錬	2,077	100	122	<b>2,140</b>	<b>96</b>	<b>118</b>	62	△ 4	△ 4
電子材料	625	65	68	<b>660</b>	<b>60</b>	<b>65</b>	34	△ 5	△ 3
金属加工	754	69	71	<b>840</b>	<b>71</b>	<b>72</b>	85	1	0
熱処理	251	23	22	<b>300</b>	<b>29</b>	<b>28</b>	48	5	5
その他、全社・消去	△ 574	13	11	△ <b>590</b>	<b>14</b>	<b>12</b>	△ 15	0	0
計	4,105	339	365	<b>4,340</b>	<b>340</b>	<b>365</b>	234	0	0

# 2017年度 前提条件と感応度

感応度（営業利益/年）

単位：百万円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	115.0 円/\$	±1 円/\$	<b>420</b>
銅	5,500 \$/t	±100 \$/t	<b>50</b>
亜鉛	2,700 \$/t	±100 \$/t	<b>500</b>
インジウム	190 \$/kg	±100 \$/kg	<b>600</b>

※為替感応度の内訳は、製錬部門340百万円、電子材料部門80百万円です。

## 為替相場、金属価格比較

	2016年度 平均		2017年度 前提条件		(参考) 直近
	上期	通期	上期	通期	4月平均
為替：(¥/\$)	105.3	108.4	115.0	115.0	110.1
銅：(\$/t)	4,752	5,154	5,500	5,500	5,698
亜鉛：(\$/t)	2,084	2,367	2,700	2,700	2,633
インジウム：(\$/kg)	222	207	190	190	190

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# 投資の状況

単位：億円

	2014年度 実績			2015年度 実績			2016年度 実績			2017年度 見込		
	設備投資 株式投資	研究開発 投資	合計									
環境・リサイクル	102	3	106	91	3	94	57	3	60	70	4	74
製 錬	24	27	51	52	45	97	82	20	103	49	9	58
電 子 材 料	22	26	48	38	29	68	37	32	70	40	34	74
金 属 加 工	21	5	27	28	5	34	40	5	45	55	5	60
熱 処 理	43	3	46	30	4	35	53	4	57	50	3	53
全社、その他	4	△ 1	3	7	△ 1	5	24	0	23	15	0	15
合計	218	65	284	249	86	336	294	66	361	279	58	337

## (参考) 減価償却費

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度 実績	2017年度 見込
環境・リサイクル	46	47	45	47
製 錬	34	29	38	46
電 子 材 料	25	24	23	30
金 属 加 工	22	20	20	27
熱 処 理	18	20	19	22
全社、その他	9	9	9	11
合計	155	151	157	186

## 2017年度の主な投資

環境・リサイクル：低濃度PCB廃棄物の事前解体能力の強化

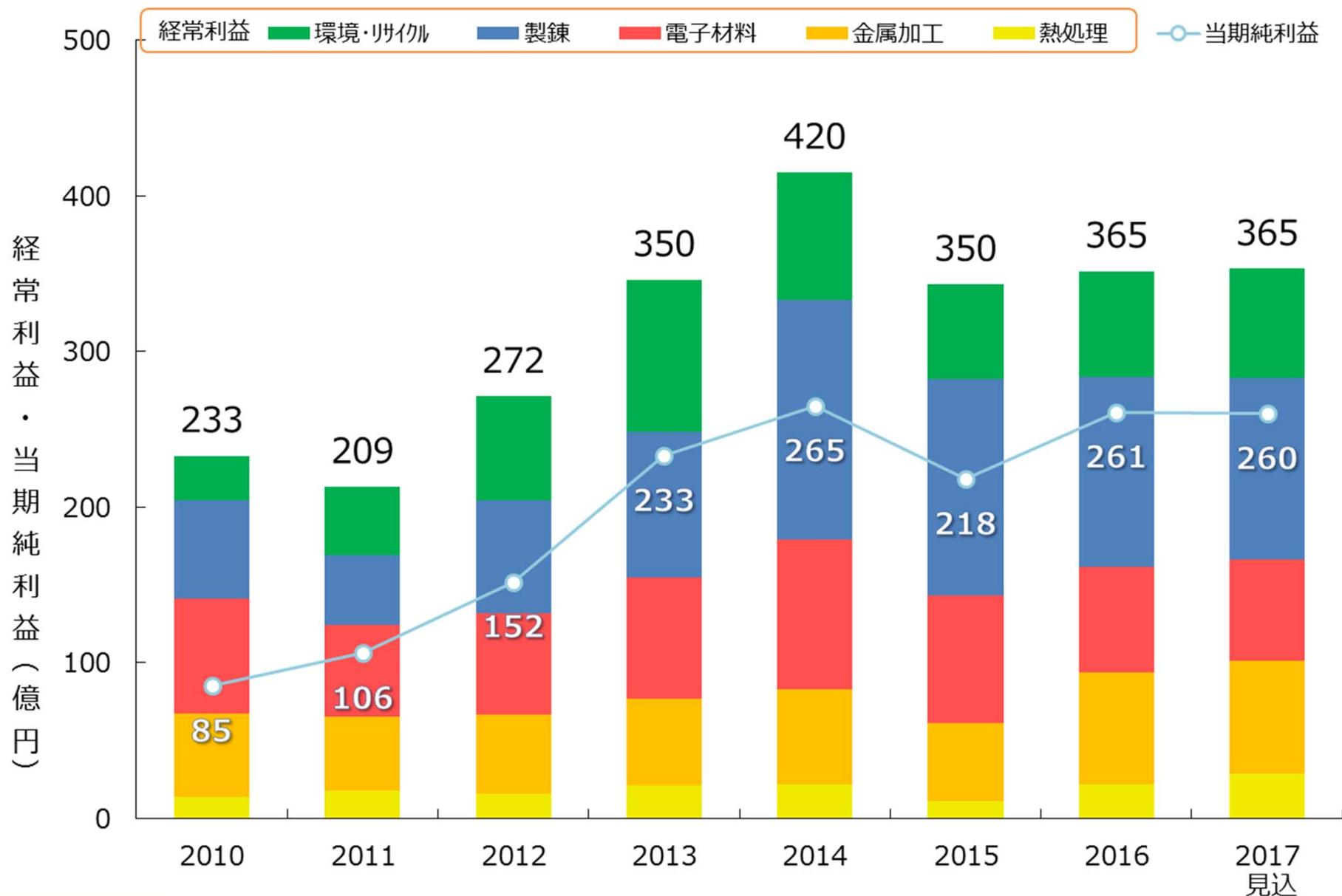
製錬：亜鉛製造設備の新設・更新

電子材料：製造設備の増強（銀粉、フェライト粉）

金属加工：回路基板製造設備の増強

熱処理：熱処理加工設備の増強

# 経常利益・当期純利益の推移



---

# DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。